⑱ 南字ヶ浦海岸 海岸堤防嵩上整備事業

受賞機関 茨城県 常陸大宮土木事務所

キーワード 観光地での災害復旧、早期完成、景観形成

全建賞審査委員会の評価ポイント

東日本大震災の影響による地盤沈下により沈下した海岸堤防 (L=388m) を嵩上げした事業。地域住民や観光事業者等との意見交換を行い、背後地からのスムーズなアクセスやバリアフリー、景観に配慮した護岸のデザインとするほか、海水浴期間中の工事の自粛など、地元の観光事業者と密に調整しながら防災機能と利活用の機能を併せ持った護岸整備を6年という短期間で行った点が評価された。

1. はじめに

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による震度6弱の強震と地盤沈下により、阿字ヶ浦海岸では既設護岸が崩壊・沈下し、海岸防護機能の低下につながる、甚大な被害を受けた。

当海岸は県内でも有数の海水浴場であり、海岸保全の 観点のみならず、観光面においても早急な復旧・復興が 必要とされる中、震災発生から6年という短期間で復旧 事業を完了した。

2. 事業の概要

阿字ヶ浦海岸の復旧計画に際して、「茨城沿岸津波対策検討委員会」を発足し、復旧方針として「目指すべき堤防高」を目標とする既設護岸の嵩上げを行うこととし、L1津波高を上回る高潮を考慮した打ち上げ高として、T.P.+5.0を堤防嵩上げ高と設定した。合わせて、L2津波に対しても、堤防が直ちに倒壊に至らないよう、堤防天端や裏法尻の構造上の弱点を補強し、粘り強く施設機能が発揮される構造とした。

復旧における基本工法としては、波返し工を有する直 立護岸とした上で、県内有数の海水浴場であることに鑑

阿字ヶ浦海岸 海岸堤防嵩上整備事業 海水浴客で賑わう阿字ヶ浦海岸 位置図 み、地域観光事業者や地元ひたちなか市の意向を踏まえ、海岸利用の観点から近隣の宿泊施設等と海岸とのスムーズなアクセスを可能とするアクセス用階段の配置を行った。また、良好な景観の維持においても化粧型枠を採用するなど、地域特性に配慮した事業を進め、本復旧工事

の着手から6年間で全ての堤防嵩上げ工事が完了した。

3. 事業の成果

震災後の一刻も早い復旧・復興が求められる状況下で、6年間という短期間での事業完了により、地域の安全・安心を回復すると共に、海岸利用面においても、震災直後に激減した海水浴客が年々増加傾向(H30:85%増(対H29年比))にあるなど、魅力ある景観・施設設計により、多くの観光客が楽しめる海岸環境を実現した。

今後、当海岸は更なる観光資源として、国営常陸海浜 公園をはじめとする、周辺観光施設との回遊性を有しな がら、地域の観光発展に大きく寄与することが期待される。



復旧事業完了後(平成29年7月撮影)

4. おわりに

発災から6年間で事業を完了できたことは、地元観光 事業者、並びにひたちなか市をはじめとする、多くの関 係者の皆様のご理解とご協力によるところであり、この 場をお借りして、厚く御礼申し上げたい。

今後も阿字ヶ浦海岸の風光明媚な景観を、地域の貴重な観光資源として、地元のみならず訪れる多くの観光客にとっても、より一層の恩恵となることを期待する。

「出典元:ひたちなか市観光協会」